

第一問

(五)	変	め	で	す	が	オ	(四)	(三)	(二)	(一)
a	容	に	、	る	車	ー	<p>対話し、次々と新たな語りが触発され、多様な語りが場に満ちていくこと。</p> <p>患者と様々な立場の関係者が集い、いかなる発言も排除されずに全員が平等に</p> <p>を受け取ることで、自らの超自我を抑圧のより少ないものへと刷新しうるから。</p> <p>精神分析では、患者が分析家を幼少期の養育者に重ね、分析家による解釈</p> <p>で、権威ある超越者としての分析家に患者が服従する関係が築かれること。</p> <p>患者と分析家は対等なはずなのに、分析家が患者の頭上で語る配置をとること</p>	<p>を受け取ることで、自らの超自我を抑圧のより少ないものへと刷新しうるから。</p> <p>精神分析では、患者が分析家を幼少期の養育者に重ね、分析家による解釈</p> <p>で、権威ある超越者としての分析家に患者が服従する関係が築かれること。</p> <p>患者と分析家は対等なはずなのに、分析家が患者の頭上で語る配置をとること</p>	<p>を受け取ることで、自らの超自我を抑圧のより少ないものへと刷新しうるから。</p> <p>精神分析では、患者が分析家を幼少期の養育者に重ね、分析家による解釈</p> <p>で、権威ある超越者としての分析家に患者が服従する関係が築かれること。</p> <p>患者と分析家は対等なはずなのに、分析家が患者の頭上で語る配置をとること</p>	
変	が	患	専	超	座	プ				
貌	生	者	門	越	で	ン				
b	じ	が	家	者	行	ダ				
親	、	心	同	に	う	イ				
戚	症	の	士	患	平	ア				
c	状	内	も	者	等	ロ				
幻	の	で	対	が	な	ー				
覚	改	対	話	徒	対	グ				
	善	話	を	属	話	で				
	が	す	行	す	に	は				
	可	る	い	る	よ	、				
	能	こ	、	関	リ	患				
	と	と	そ	係	、	者				
	な	で	れ	を	頭	と				
	る	、	を	排	上	全				
	こ	個	受	し	に	関				
	と	人	け	た	君	係				
	。の	止	上	臨	者					

第二問

(三)	(二)	(一)		
<p>大将は、飛鳥井の女君に自身への執着を捨てて成仏してほしいと思っただから。</p>	<p>飛鳥井の女君が夢に現れ、生前の姿のまま大将の側に座っていると、うこと。</p>	<p>ウ そのまま伝えることができないのは、かえって語る価値がない</p>	<p>イ 涙で袖を濡らさず、人もめだにいな様子である</p>	<p>ア 並一通りでなくさせなせる</p>

第三問

(三)	(二)	(一)		
		d	c	b
石よおまえたちは老いぼれである。私白居易の友人になつてもらうか。	二つの石は一般の役に立たないため、普通の人には関心を示さないということ。	受け入れてくれないことを	自分の相棒を探し求める	湖の水辺に捨て置かれ
				